

新年特別号

明けまして
おめでとうございます
今年もよろしくお祈りします

朝志和

発行所

埼玉土建一般労働組合朝志和支部
〒351-0007 朝霞市岡 3-24-37
TEL048-462-1303 FAX048-463-7059
《発行人》朝志和支部教育宣伝部
第200号 定価 30円
(機関紙代は組合費に含まれています)
MAIL asashiwa@saitama-doken.or.jp



三代目

撮影：栗田伴春

土建国保強化の運動 引き続き重要に

支部長 田澤達好

明けましておめでとう
ございます。二年度に渡り
新型コロナウイルス感
染による組合活動の制約
を受け、組合員の皆様
は大変ご不便をおかけし
ました。未だ完全な収束
までには至らず、新年度
まで続くことが予想され
ます。

DSK納入の(組合費
のコンビニ払い)継続の
声が多いなか、一年以上
にもおよび本部財政を圧
迫し、支部財政にもおよ
びコロナ感染者の減少と
いう流れも併い、従来の
組織納入のお願いに至り
ましたが、油断は禁物の
状態は変わりありませ
ん。

政権交代の絶好のチャ
ンスの年度も終わり、今
後国保財政を守るための



田澤達好朝志和支部支部長

育成、強化を求める運動
が引き続き重要になりま
す。岸田首相による「新
しい資本主義」の提案は
「成長と分配」。大企業
の成長のために国が優遇
税制や財政措置などで支
援。その裏側では中小企
業の淘汰や国民には負担
が増すばかりの医療や介
護、減らされる年金。自
己責任が増すばかりで命
や健康、人権をめぐる政
治的闘いは続きます。岸
田首相は賃上げを口にし
ますが、本気で賃金引き
上げを実現するのであれ
ば、最低賃金の抜本的な
引き上げに加え、非正規
労働者の処置改善や中小
企業ほど負担の大きい社
会保険料の減免など実効
性ある対策をとるべきで
す。

13年に渡るアスベスト
訴訟も最高裁で勝利をお
さめたものの具体的な解
決まで今一歩で、補償基
金制度創設までには至っ
ておりません。長期間に
および署名のご協力に心
から感謝申し上げます。

もに全組合員、ご家族の
皆様が災害にあわず、ご
健康を心からご祈念申し
上げ、年頭のあいさつに
代えさせていただきます。
【支部長 田澤達好】

行事をやれる年に 昨年を我慢を糧に

次世代部長 西慶晴

新年あけましておめで
とうございます。昨年は
新型コロナウイルスの影響もそれ
ほどなく、例年並みの仕
事量でした。このご時世
とてもありがたいことで
す。

しかし、次世代対策部
の支部行事としてやりた
かったバーベキューなど
は、なかなか思い通りに
いかない1年となってい
ました。しかも、私だけ
でなく、皆さんも同じ状
況だと思っております。こ
我慢の1年を糧に今年
やりたいことをやりたい
だけできる年にしたいと
思います。

今年はずっとみて
【次世代対策部長
西慶晴】



西慶晴次世代部長

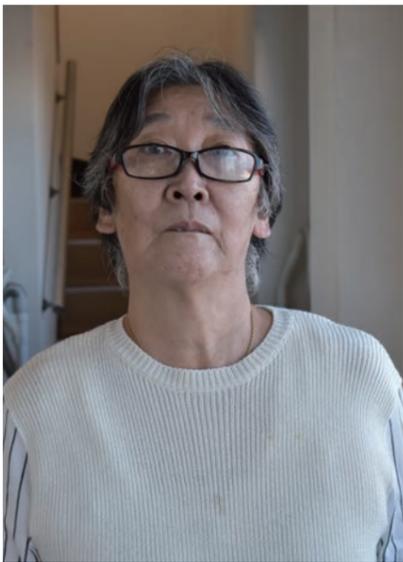
運動や行事をすすめる 魅力ある主婦の会を

主婦の会会長 吉田美幸

皆様、明けましておめ
とうございます。組合
員の皆様には輝かしい新
年をお迎えのことと存じ
ます。また、日頃より主
婦の会事にご支援、ご協
力頂きありがとうございます。

皆様、明けましておめ
ても年々厳しくなるな
か、組合員の皆様はじめ、
組合員・書記局の方々の
協力のもと、達成するこ
とができていく状況で
す。

今後組合とお互いに
協力しあい、運動や行事
を進め、魅力ある主婦の
会として頑張ります。会
員の皆様にとつて飛躍し
ていける年になりますよ
うお祈り申し上げます。
【主婦の会会長
吉田美幸】



吉田美幸主婦の会会長

年ごとに増える会員 会への情熱も増し

壮葉会副会長 雛田谷康明

皆様明けましておめで
とうございます。
今年もまた壮健でこう
して新年を祝うことので
きますことを大変喜んで
おります。コロナ禍とは
いえ年ごとに仲間が増え

ていくことは会が充実し
ていく証拠で、おのずか
ら会への情熱も増してく
るものです。
コロナが落ち着きまし
たら、役員一同知恵をし
ぼって一層愉快に一層な

ごやかにされるよう多彩
な取り組みを考えます。
どうぞ壮葉会をよろしく
お願いします。
【壮葉会副会長
雛田谷康明】



雛田谷康明壮葉会副会長

明けましておめでどう
ございます。昨年6月か
ら青年部長として活動し
ている鈴木大貴です。

建設業はまだまだ低賃
金、劣悪な労働環境が改
善されず、入職者の減少
によって高齢化がすす
み、技能工不足が深刻な
状況です。魅力ある建設
産業作りのため、若者自
らが「賃金の引上げ」
「労働環境改善」の声を
あげることが必要です。
その声を大きくしてい
きたいと思っております。
【青年部長 鈴木大貴】

秋の拡大月間は分会長
や対象者へ電話かけを行
い、5人の部員拡大目標
を達成することができま
した。春の拡大月間では
青年部の統一行動や分会
キャラバンなどを行い、
分会と青年部の繋がりを
作りながら拡大行動が出
来るように取り組んでい
きたいと思っております。



鈴木大貴青年部長

若者自らが声をあげ 魅力ある建設産業に

青年部長 鈴木大貴



高橋部長(左) 栗田副支部長(中) 大河原氏(右)

日本の林業の現状 地域の人が地域の産業で

新年号は19年前(朝志和再編前)に一度取材に行っている、飯能市の大河原木材株式会社(株)の代表取締役社長(株式会社フォレスト西川会長)に「日本の林業(木材)の現状」の取材に行きました。(取材:高橋・栗田・亀山・井口)
埼玉県の総面積は約6000平方キロメートルで森林面積は約1200平方キロメートルです。飯能市・日高市・毛呂山町・越生町の2市2町の森林面積は、200平方キロメートルで県の全体の6分の1を占めています。そこから産出された木材を「西川材」と呼びます。江戸時代、高麗川・名栗川・越辺川を介し荒川に「いかだ」を組んで江戸まで流送していたので「西の川から来る良質の杉やヒノキを西川材」と呼ぶようになったと言われています。

木に対する思い入れ

情緒ある木目

質問①:20年の夏、アメリカから始まったウッドショック(コロナ禍により経済の急回復を受けて建材の高騰が続き、一時

は非常に厳しい状況が続いています。平成18年頃の日本で使用される木材全体に対する国産材の割合は、18パーセント程度でしたが、現在は30パーセント台まで回復しています。また、平成元年頃この地域には製材工場は120社ぐらいありましたが、現在は20社に減ってしまいました。輸入材に対抗するため、他県の大規模な製材工場でコストダウンされ、価格の叩き合いとなり、利益が出ないかというギリギリの状況です。

質問②:主な受注先はどこですか

大河原氏:平成の初めの頃から安価で安定して供給できる輸入材が大量に来るとなり、国産材

大河原氏:株式会社高砂建設(本社蔵市)では、西川材を使って梁や天井の木や柱も見せる家屋造りをやってくれています。昔の日本家屋には木に対する知識や思い入れが有ったのだと思います

出来ない山の管理

間伐してもそのまま

質問③:大河原さんが目指していることは

大河原氏:国産材の需要は、現在日本で成長している木の量で賄えます。環境林、経済林とバランス良く活用している量があります。輸入材が入りづらい状況が続く、木材の価格は上がりますが、価格は40年下がり続

50年生の杉を山から切り出して売る値段より、販売する値段の方が安いのです。山を引き継いでも相続放棄や、林業からサラリーマンになったりと山を管理する人が居なくなっています。間伐しても「切り捨て間伐」と言って、切つてそのまま

の状態が多く見られます。搬出する費用がかけられず、放置せざるを得ない状況です。しかし、間伐が不十分で細い木でも合板にすれば使えます。柱などに製材加工した残りは、細い木と共にベニヤ合板や、チップにして紙の原料にします。一本の木をくまなく使います。



(株)大河原木材製材工場の様子

す。しかし今は西洋化して和室がない住宅が多くなり、梁や柱が見えない構造となり、木は何でも良いという風潮になっていきました。
家1軒に対する建築費の木材の割合は15パーセント程度で、システムキッチンやユニットバスなどの設備(機能)重視に変わってきています。今の住宅は柱で持たせるのではなく、壁で強度を出しているため、無垢の杉

を使う人は殆どいません。無垢の杉を使うとコストが大幅に上がると思われていますが、それほど上がらないのです。
そもそも日本の家屋は二世代ぐらいに渡り住めるような造りでした。古くなった木目は、年季が入るほど情緒が出てきます。しかし今は何でも使い捨ての時代になってしまい、住宅も同じで新しい物が良い物とされてしまっています。

「私も長らく木に関わる仕事をしていますが、儲かる仕事ではありません。しかし、木材の地産地消で地域経済を循環させ、地域の産業として地域の人が地域の産業で生活できるように、仕事と文化の交流を拡げて行くのが私の仕事です」と大河原氏は語ってくれました。

1面の職人さん



うえたけ しげあき 植竹 繁昭さん

黒目川分会 (塗装)

朝霞市溝沼の「有限会社植竹塗装」の三代目として、現在31歳。18歳から塗装工として13年の経験。
植竹さんの仕事はお客さんから口伝えに直接来ることが多いとのこと。



いかだで西川材を運ぶ昔の様子

都内では木造ビルが

木について考えてみる

飯能の通りから山道に入っていると、切り捨てない木材。今、都内では木材高層ビルが建てられています。木材を見直す時がきたのではと感じました。お正月のひと時皆さんも木について考えてみませんか。



我が家のアイドル

田澤直采 (なおと) くん 5歳
田澤歩果 (ほのか) ちゃん 3歳
おじいちゃん 田澤達好 さん (和光北)
ひとつと すこやかに元気に育ってね



標高 771 メートルの関八州見晴台



関八州見晴台で

9月の末にコロナ禍のなか、さわやかな空気を満喫すべく、越生町の森林浴にどっぷりと浸かってきた。目的地の定まらないなか、偶然越生町と飯能市の境に位置する標高771メートルの「関八州見晴台」のとある出来事：

越生梅林を過ぎ、黒山三滝の手前から、山道に入り、およそ10キロの林道を走ると、途中に高山不動尊があり、登山コースでは「関八州見晴台」まで約30分、600メートル

「お先にどうぞ」と譲られ登ること約100メートル。素晴らしい景色で、見晴台で深呼吸して展望していると、間もなく女性2人組も到着。ベンチがあり、腰を下ろし、少しばかり世間話をして休憩していたところ、2人組も腰を掛けて

私は小学校・中学校と東京都の荒川区で育ちました。今日は都電荒川線宮ノ前「八幡神社界隈」の話しましょう。

私が小・中学校の頃は高度成長期の真っただなかで、荒川区にはいたるところに町工場あり、小さいながらもみな社長さんでした。景気が良かったのでしよう。八幡神社の向かいには花街が広がって、その社長さん達が飲んだり遊んでいた料亭の黒塀も子どものころ

我がふるさと

八幡神社界隈 (荒川区)



見た覚えがあります。阿部定事件もこの花街だったと聞いています。

前の道路には昔ながらの都電が三ノ輪―早稲田間を今でも走っています。裏には隅田川が流れています。今ではきれいな川で魚も住むようですが、子供のころは川沿いに大きな工場がひしめき合い、廃液を垂れ流しの状態でした。空気も悪く体育の時間に体調が悪くなる子もいました。

お正月・お盆などは映画の寅さんのような「やし」が、ところせましと出て来て、お年玉をにぎりしめてお正月に通いました。夏は八幡神社のお祭りがあり、綺麗どころを先頭に、馬に乗った人の行列もありました。大きなお神輿もありましたが、担ぐ人がいなくてトラックに積んで各町内をまわっていました。

各工場は社宅がいくつかあり、子どもたちも沢山いて、商店街の夜店もなかなか前へ進めないほど



渋沢栄一記念館 (深谷)

渋沢栄一アンドロイドが身振り手振りを交えながら講義を行う。在りし日の栄一を感じることができる。

志木 廣田

お昼の時間でもあり「夕べ、栗あんこを作り、今朝栗まんじゅうを作ってきた」と1人の女性。手作り栗まんじゅうを私に「食べて」と1つ差し出してくれ、恐縮しながら

頂戴した。2人で食べようと2個しかない栗まんじゅうを私に譲ってくれたため、2人で1個を分け合って食べ、更にリュックで背負ってきたペットボトルのお茶まで私が

頂いたので2人で1本を分けて飲んでいた。

どこの馬の骨とも知れない私に、手間暇かけた手作り栗まんじゅうと30分以上も汗して登ってきた。2人で飲もうとしたお

茶を私に下さった「女神様」のような女性。あまりの感激の出会いで忘れられない、心身リフレッシュの一日だった。

【和光北 田澤達好】



八幡神社の前には昔ながらの都電が走り

どでしたが、今の商店街はシャッター通りで寂しい限りです。古き良き昭和の街並みです。お正月皆さんいかがですか。

【花の木 高橋洋】